

戦評用紙

大会名	平成29年度藤井杯高野杯山形県高等学校バスケットボール選手権大会
-----	----------------------------------

日時	2017年4月23日 12:45 ~	区分	山形県バスケットボール協会
----	--------------------	----	---------------

チームA				チームB
山形市立商業				山形中央
89	25	1Q	14	60
	20	2Q	9	
	24	3Q	17	
	20	4Q	20	
		延長		

【戦評】

藤井・高野杯女子決勝戦。山形中央高等学校対山形市立商業高等学校との試合。お互いマンツーマンディフェンスでスタートする。商業が#4の3Pで先制点。すかさず中央もドライブからのあわせを#5が受け、ゴール下のシュートを決める。中盤まで、一進一退の攻防が繰り広げられたが、商業#5のバスケットカウントや商業#7のターンオーバーからの速攻などで徐々に点差が離れ、25対14で第1ピリオドを終える。

第2ピリオド、商業は序盤激しいディフェンスから相手の得点を許さず、#7のミドルシュートやオフেনスリバウンドからの商業#6のゴール下シュートなど確実に得点を重ねていく。中央がタイムアウトを取り、流れを変えようとする。その後、中央#4のバスケットカウントが決まるも商業#10のドライブを止めることができない。フリースローも落とさない商業は、流れを渡さないまま第2ピリオド45対23で後半へ続く。

第3ピリオド、商業#7の3Pシュートではじまる。序盤中央#4が続けてドライブをするも商業の堅いディフェンスにはばまれる。残り7分中央がタイムアウトを取り、中央はオールコートディフェンスに切り替える。中央#7のバスケットカウントや中央#7の3Pもシュートも入り、流れが中央に傾いたが、点差は縮まらず69対40で最終ピリオドを向かえる。

第4ピリオド、反撃をしたい中央は#7#8の連続3Pシュートなどで一挙に8得点をあげる。中央のターンオーバーもあり、20点差まで追い詰めるが、その後決定的な場面でチャンスを生かせない。商業は落着いて自分たちのバスケットをし、最終スコア89対60で森岡監督初の優勝を決めた。

戦評者

福士 堅